

2019年 5月21日 火曜日  
(令和元年)【旧4月17日・友引=小満】

## 日本遺産 県内から初認定

### 文化庁「琉球料理 泡盛 芸能」



中国の冊封使を歌や踊りでもてなした琉球王国時代の行事を再現した「中秋の宴」  
＝那覇市・首里城

琉球王国時代の行事を再現した「中秋の宴」

県は、首里城が所在する那覇市、国立劇場などがある浦添市と連名で申請していた。タイトルは「琉球王国時代から連続と続く沖縄の伝統的な『琉球料理』と『泡盛』、そして『芸能』。礼節を重んじる『守礼の邦』琉球が、中国から派遣された冊封使節団などをもてなすために振る舞った琉球料理や泡盛、琉球舞踊などをまとめた。

日本遺産審査委員会(委員長・下村彰男東京大学大学院教授)による審査では、「琉球王国時代からの歴史を生かしたおもてなしの文化は、沖縄の大きな武器。沖縄らしさにあふれ興味深い」と評価された。

都内で永岡桂子文部科学副大臣から認定証交付を受けた玉城デニー知事は「積極的に展開し、沖縄観光の質を高めていきたい」と述べた。

#### 日本遺産

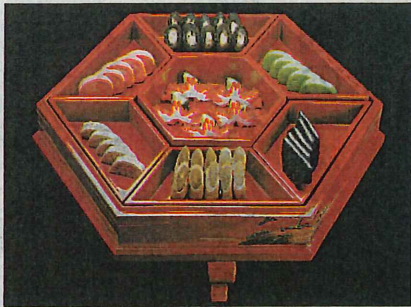
地域の文化や魅力をストーリーとして評価し、国内外に発信する目的で文化庁が認定している。認定を受けると3年間、国の補助金を受けて情報発信や普及啓発などの事業が実施できる。県は2015年度から取り組む沖縄伝統の食文化の保存・普及・継承に生かした

【東京】文化庁は20日、地域の有形・無形の文化財をストーリーとしてつなぎ魅力を発信する「日本遺産」に、県が申請した「琉球料理、泡盛、芸能」のほか15件を新たに認定した。認定総数は計83件となった。県内からは初めて。県は伝統的な食文化や芸能に関する発信力を高め、地域活性化や観光振興につなげたい考え。(26面に関連)

文化庁は2015年度から毎年度認定しており、20年度までに100件程度を目指している。今回、沖縄

【東京】文化庁は20日、地域の有形・無形の文化財

をストーリーとしてつなぎ魅力を発信する「日本遺産」



琉球王国時代に振る舞われ



沖 縄 タ イ ム ス

# 観光振興 高まる機運

## 日本遺産認定 国内外へ発信

「琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な『琉球料理』と『泡盛』、そして『芸能』が日本遺産に認定された。玉城デニー知事は「ウチナーンチュの宝だ。県民を挙げてお祝いしたい」と歓迎。各業界からも「国内外へ広く発信され

ることが期待される」「世界遺産登録に向けた機運が高まれば」などの喜びの声が上がった。(1面参照) 玉城知事は、日本遺産認定を観光振興に生かしたいとの考えを示した。「迎恩の心と守礼の心でたくさんの方を沖縄にお迎えし

る。泡盛業界は14年連続で出荷量が減っているが、「歴史があるということ幅広世代に伝えていきながら消費拡大にもつなげていきたい」と抱負を語った。「ユネスコ無形文化遺産登録推進委員会」の安田正昭委員長(琉球大学名誉教授)は「これを機に県民一丸となってユネスコ登録を目指したい」と意気込む。琉球料理保存協会の安次富順子理事長は「琉球料理がこうした形で認められたのは初めてではないだろうか」と目を細めた。伝統料理の継承と普及を目指し、今年1月に同協会を発足し

たばかり。「日本遺産認定は取り組みをさらに進める後押しになる。『琉球料理の日』制定などを通して、まずは県民の関心を高めていきたい」と展望を示す。

に、観光でも誘客力アップにつなぐがいい」と期待を寄せる。「より洗練された伝統芸能を県外や世界の人に見てもらえるよう努力したい」と気を引き締めた。



永岡桂子文科副大臣(左)から日本遺産認定証の交付を受けた玉城デニー知事。20日、東京国立博物館平成館

新たに認定された日本遺産 ※表記は文化庁発表に基づく

|    |                                         |                         |
|----|-----------------------------------------|-------------------------|
| 1  | 本邦国策を北海道に観よ!                            | [北海道]                   |
| 2  | みちのくGOLD浪漫                              | [岩手、宮城]                 |
| 3  | 里沼(SATO・NUMA)                           | [群馬]                    |
| 4  | 400年の歴史の扉を開ける旅                          | [福井]                    |
| 5  | 江戸時代の情緒に触れる絞りの産地                        | [愛知]                    |
| 6  | 海女(Ama)に出逢えるまち                          | 鳥羽・志摩 [三重]              |
| 7  | 1300年つづく日本の終活の旅                         | [岐阜、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山] |
| 8  | 旅引付と二枚の絵図が伝えるまち                         | [大阪]                    |
| 9  | 中世に出逢えるまち                               | [大阪]                    |
| 10 | 「日本第一」の塩を産したまち                          | 播州赤穂 [兵庫]               |
| 11 | 日本海の風が生んだ絶景と秘境                          | [兵庫、鳥取]                 |
| 12 | 神々や鬼たちが躍動する神話の世界                        | [島根]                    |
| 13 | 知ってる!? 悠久の時間が流れる石の島                     | [岡山、香川]                 |
| 14 | 藍のふるさと 阿波                               | [徳島]                    |
| 15 | 薩摩の武士が生きた町                              | [鹿児島]                   |
| 16 | 琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能」 | [沖縄]                    |